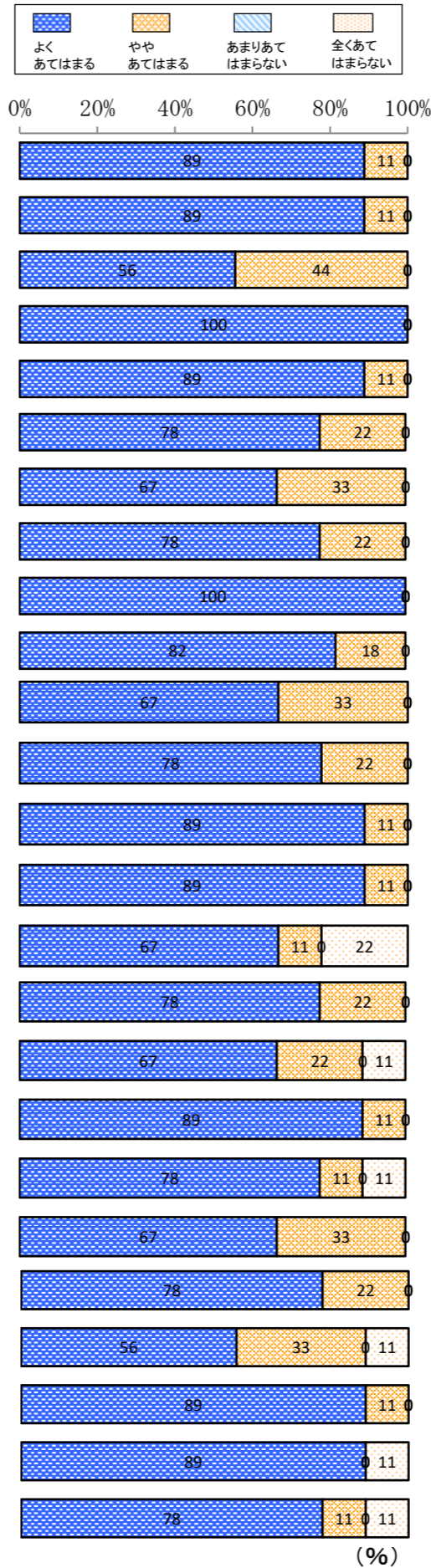


	評価項目	評価結果	評価結果				
			A	B	C	D	無回答
学校全体の様子	1 教育目標・方針	児童・生徒や保護者等と共有できるように学校の教育目標を示し、方針を説明している。	8	1	0	0	0
	2 児童・生徒の様子	児童・生徒は、明るく素直で、生き生きとした楽しい学校生活を送っている。	8	1	0	0	0
	3 基本的生活習慣	児童・生徒の服装や通学態度、挨拶など基本的生活習慣がしっかりしている。	5	4	0	0	0
	4 児童・生徒理解	児童・生徒の良さや努力しているところを見つけ、励まし、理解しながら一人一人の能力を伸ばすように努めている。	9	0	0	0	0
	5 健康・安全・安心	児童・生徒の健康や安全（確保・対策）に配慮するとともに、主体的に行動できる防災教育を充実している。	8	1	0	0	0
学力向上の取組	6 分かる授業	楽しく分かりやすい授業が実践されている。	7	2	0	0	0
	7 個に応じた指導	習熟度別学習等、児童・生徒一人一人の理解の程度に応じた学習指導が行われている。	6	3	0	0	0
	8 学習習慣	放課後の補充指導等を行うとともに、家庭での学習課題を提示する等、学習習慣の定着を図る工夫をしている。	7	2	0	0	0
	9 情報教育	タブレットPCなど、ICT機器を活用した教育を推進しながら、情報活用能力の育成に向けて取り組んでいる。	9	0	0	0	0
	10 学校図書館の活用	読書と学習に役立つ学校図書館として活用されている。	9	2	0	0	0
社会性・人間性の育成	11 人権教育	自他を大切にし、偏見や差別を許さない豊かな人権感覚を育てる教育を行っている。	6	3	0	0	0
	12 道徳教育	生命を大切にする気持ちや他人を思いやる心、善悪の判断や規範意識を育てる等、道徳性をはぐくむ教育を行っている。	7	2	0	0	0
	13 教育相談	教育相談を充実し、いじめや不登校を防止する等児童・生徒一人一人の居場所がある学校づくりに努めている。	8	1	0	0	0
	14 人間関係づくり	学校行事等の教育活動を工夫し、体験活動を充実させながら望ましい人間関係が築けるよう取り組んでいる。	8	1	0	0	0
	15 自治的な活動	学級活動や児童会・生徒会活動等で、児童・生徒が自発的・自治的に活動できるように工夫しながら指導している。	6	1	0	0	2
保護者・地域との連携	16 情報発信	学校便りや学年便り、学校ホームページ等で、保護者や地域の方に、学校の教育活動の様子を分かりやすく知らせている。	7	2	0	0	0
	17 相談への対応	児童・生徒や保護者からの連絡や相談を丁寧を受け止め、適切な対応をしている。	6	2	0	0	1
	18 学校への参加	学校行事等では、保護者や地域の方が参加しやすいように工夫している。	8	1	0	0	0
	19 地域との連携	地域の行事などに協力的で、連携を図っている。	7	1	0	0	1
	20 意見の反映	保護者や地域から寄せられた意見や要望を受け止め、学校運営と教育活動の改善に努めている。	6	3	0	0	0
各学校の特色ある教育	21 特色ある教育活動	英語の授業では、児童が英語に慣れ親しみ積極的に英語で自分の思いを伝えようとしたり、コミュニケーションを図ろうとしたりする態度を養っている。	7	2	0	0	0
	22 基礎・基本の定着	マスタータイム（計算・漢字等の習熟の時間）やあらかわ寺子屋を設け、一人一人が基礎・基本の力を身に付けている。	5	3	0	0	1
	23 自主的な休み時間の活用	朝休みや放課後、スーパー昼休みには、元気に体を動かしたり、図書室や学級のある本を読んだりしている。	8	1	0	0	0
	24 感染症予防の徹底	欠席の連絡方法の変更や朝の検温の徹底等、感染症を予防するために応じた対応をしている。	8	0	0	0	1
	25 外部人材の活用	外部人材を活用して、多彩な教育活動の充実を図っている。	7	1	0	0	1



### 評価委員会からのコメント

保護者にさらに教育方針を理解してもらう必要がある。特に高学年の児童及び保護者と共有できるようになるとよい。

92%の児童が楽しい学校生活を過ごしている。より一層CD評価の児童も「学校が楽しい」と思えるようなコミュニケーション作りをしていくとよい。

日々先生方が積極的に声掛けをすることで、恥ずかしさが消え自主的に挨拶ができる環境が作り出せている。

一人ひとりもっている潜在能力を100%引き出すことは難しいと思うが日々の生活の中でありのままの自分を認めてもらい自分を好きになれる児童にしていきたい。

児童は、毎月の避難訓練とおし、防災の知識は身に付いてきているので、継続して「命を守る行動」の指導をお願いしたい。

どの児童も落ち着いて授業を受けている。楽しく分かりやすい授業が実践されることで児童の学習への意欲もわくと思う。

個に応じた授業を行った結果、よい評価を得られた。AB評価について児童と保護者の評価のギャップをなくしていきたい。

少人数指導を導入したことで、児童が理解できなかった課題をクリアでき、学習意欲がわき、家庭での学習習慣も根付いていると思う。

タブレットPCや電子黒板を活用した授業が日々行われることをより一層アピールし、効果的に活用するようにお願いしたい。

学校図書館は、児童が利用しやすい環境の中に置かれている。今後とも授業での積極的な活用をお願いしたい。

学校が楽しい居場所になっていることの表れだと思う。相手を傷つけるような言葉遣い、人を思いやる気持ち、自分がされたらどう思うかを気付く子ども達であることが素晴らしい。

学校内における気付きの教育（いつ、どこで、だれが、なぜ、どのように）を日々の時間の中で教え、行動することができる自分に育つことを目標に指導してほしい。学校、家庭、地域で協力することが大切。

「よく分からない」の評価が児童7%保護者17%である。たわい無い言葉のやり取りで不登校になったり差別によるいじめを引き起こしたりするので、言葉の使い方をしっかり教えてほしい。

日常的な体験以外に行動をとおして得る体験には新しい発見があります。児童のA評価が78%なのは、活動をおとしている人との出会いが良い関係を作り築いているからだと思う。

楽しい学校生活を送るために、自分たちが企画し、工夫して活動することは素晴らしいと思います。

ホームページ等で家庭や地域に知らせているにも関わらず、児童の12%が「よく分からない」と回答しているので、より一層周知していかなければならないと思います。

相談の対応は児童及び保護者それぞれ内容が多岐にわたっているので時間がかかる場合があると思う。

感染症拡大防止策を取りながら行事が実施できたことで、保護者の方々に学校での児童の様子が分かり、保護者の肯定的評価94%と高い評価を得たのだと思う。

町会やレインボー子供会あいさつ運動等の地域の行事が今年度は復活したが、保護者によっては「地域の行事」を「学校行事」ととらえているのではないかと。HPで「地域の行事」のファイルを作る等工夫するとよい。

保護者の27%がよく分からないと回答している。今年度は、保護者からの少数の意見にも校長先生が丁寧に対応してくださっていて、意見が出しやすくなる学校になると思う。

特色ある教育活動として、昨年度まで英語の研究を実施し、その結果が児童達には評価されている。

マスタータイムやあらかわ寺子屋を活用して、さらなる基礎的な知識を高めてください。

児童、保護者共に肯定的評価90%以上と自主的な休み時間を上手に活用している成果が出ています。

児童、保護者共に肯定的評価95%以上と感染症に対して、児童及び保護者の意識が高い結果だと思います。

外部人材の活用については、PR不足だったのでしょうか、外部の方々から何を学び、どう生かしていくか、児童の感想をしっかりと聞き、家庭にどのように伝えていくべきかを検討することも必要ではないか。

(人数)

(%)

|